



IR説明会資料 (2010年3月期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

■ 2010年3月期概要説明

トピックス	<u>3P</u>
企業集団の状況	<u>4P</u>
決算概要	<u>5-19P</u>

■ 2011年3月期業績予想及び施策

連結・単独業績予想	<u>21P</u>
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	<u>22P</u>
事業セグメント別施策	<u>23-27P</u>
設備投資計画	<u>28P</u>

2010年3月期概要説明

■ “スモークサーモン”カットとスライスが2009モンドセレクション金賞を受賞 (2009年6月)

- ・コンセプト:「本格的なスモークサーモンを刺身感覚で食べてほしい」
- ・タイK&U Enterprise (KUE社)で徹底した衛生管理のもとに製造
- ・原料は鮮度、身質、身色にこだわったチリ産トラウトを吟味 添加物不使用、減塩タイプ

■ 株主総会のビジュアル化 (2009年6月)

■ 株主優待制度を新設 (2009年7月)

■ 「タイランド・ベスト・フレンド賞」を受賞 (2009年8月)

- ・寿司関連商材他の水産加工品の輸入に貢献したとして、タイ国政府商務省より授与

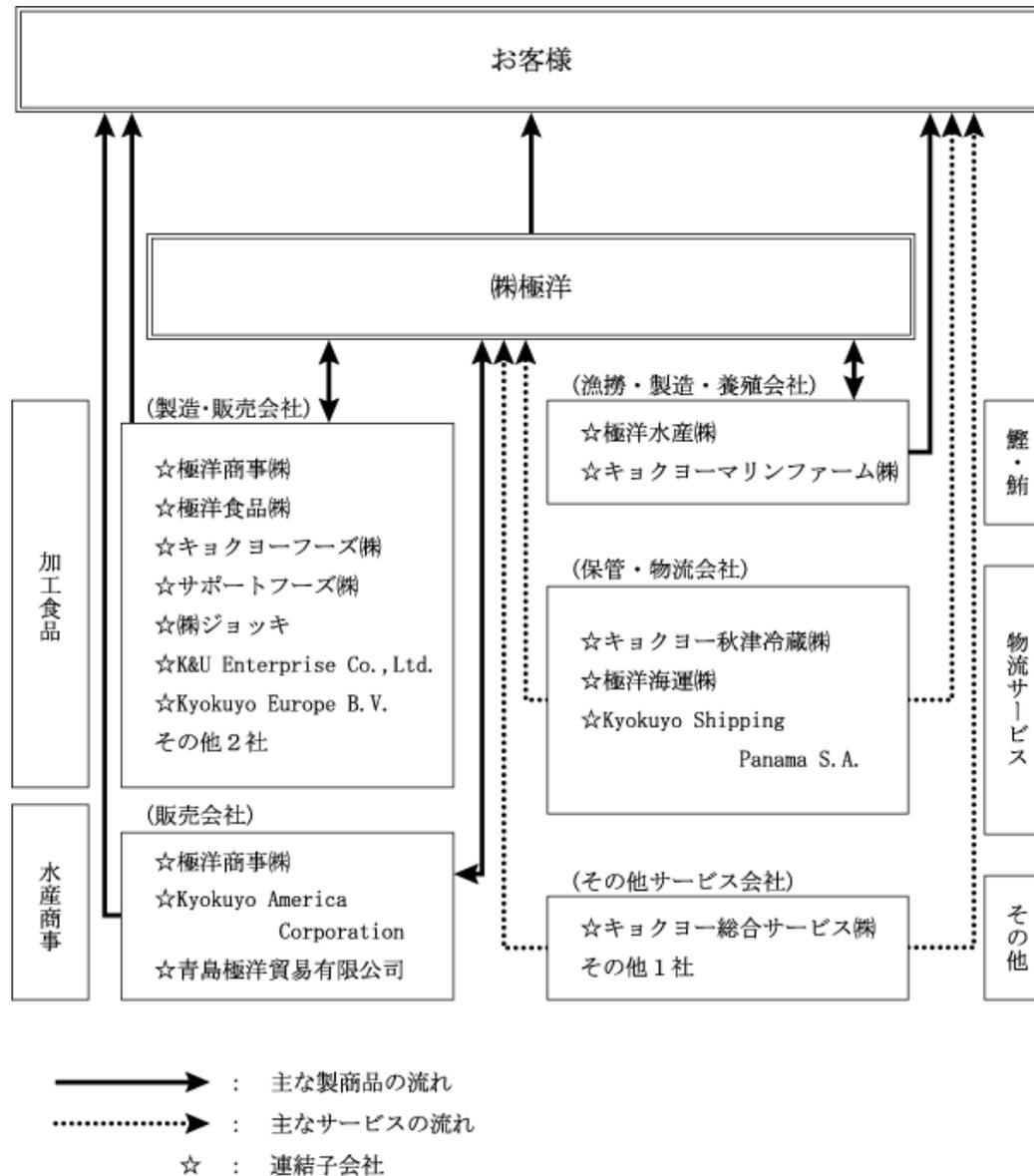
■ CSR活動の一環として「極洋グループ社会・環境報告書2009」発刊 (2009年9月)

■ キョクヨーマリンファーム(株)「本鮭の極(きわみ)」初出荷 (2009年9月)

- ・2007年度活け入れ分の出荷を開始、5~10年先には1,000トン出荷体制にする計画

■ 海外まき網船「第七わかば丸」竣工 (2009年10月)

- ・総トン数760トン型、積荷1,200トン
- ・国際競争力を有する大型化、操業効率・燃費効率の向上、小型魚混獲回避のための魚網使用



10年3月末現在、当社グループの子会社は16社、その他関係会社は2社です。

1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	前期比		当初計画	達成率	09年10月30日 業績予想修正
			(増減金額)	(比率)			
売上高	147,554	145,778	△ 1,775	△1.2%	160,000	91.1%	150,000
営業利益	2,981	2,180	△ 800	△26.9%	3,400	64.1%	2,700
営業外収益	410	769	358	—	—	—	—
営業外費用	519	399	△ 119	—	—	—	—
経常利益	2,873	2,550	△ 322	△11.2%	3,300	77.3%	3,000
特別利益	25	8	△ 17	—	—	—	—
特別損失	38	385	346	—	—	—	—
税金等調整前 当期純利益	2,860	2,173	△ 686	△24.0%	—	—	—
当期純利益	1,587	1,086	△ 500	△31.6%	1,800	60.3%	1,500

- ・10年3月期当初計画は、09年5月15日に発表した業績予想数値です。
- ・売上高は、加工食品事業、鯉・鮪事業では前期実績を上回りましたが、水産商事事業、物流サービス事業において前期比減となり、当初計画を下回りました。
- ・営業利益は、水産商事事業にて前期比増となったものの、他のセグメントは全て前期比減となり、全体として当初計画を下回りました。
- ・営業外収益は主にあきんどスシロー株式売却に伴うみなし配当金(232百万円)による受取配当金増や外国為替差益増(KUE社144百万円、Kyokuyo America社38百万円)により前期比増、営業外費用は支払利息減により前期比減となりました。
- ・経常利益は前期比減となり、当初計画を下回りました。
- ・特別損失は、主にあきんどスシロー株式の売却損です。
- ・当期純利益は前期実績、当初計画とも下回りました。

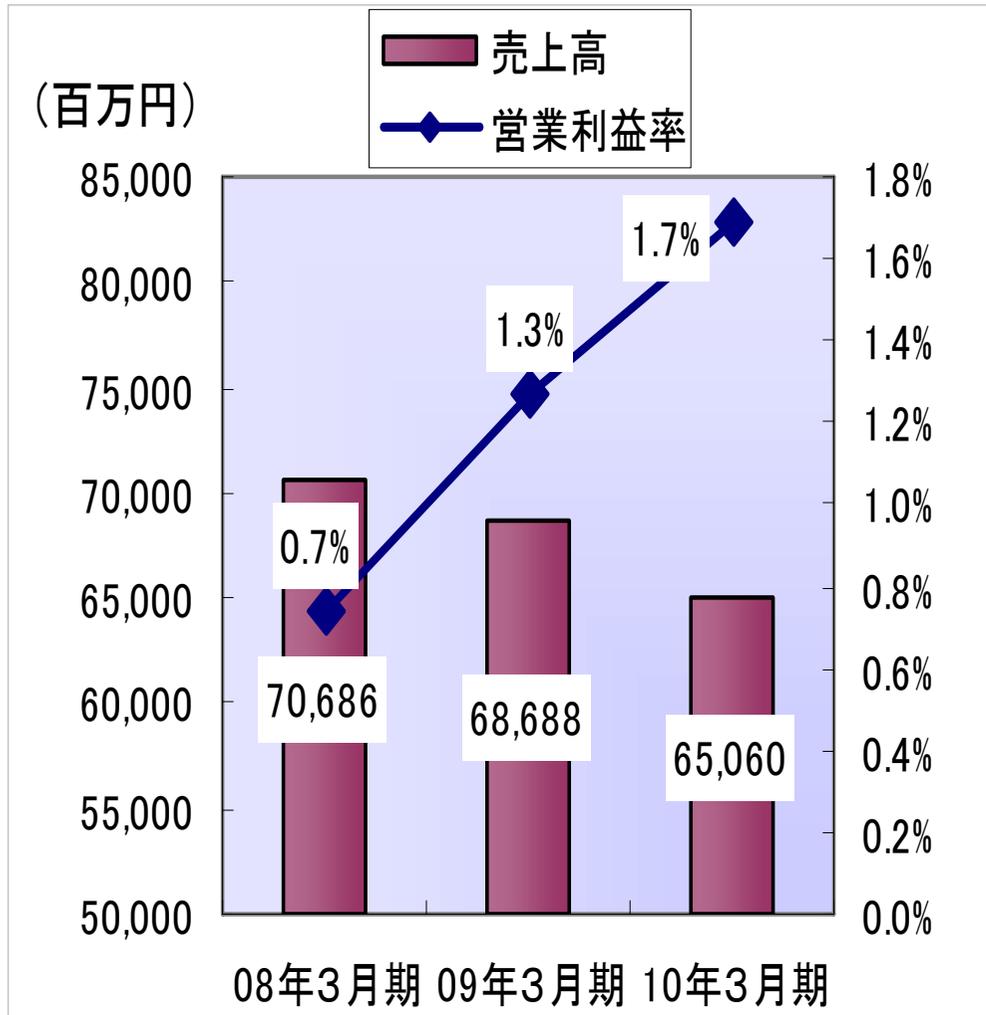
2. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	09年3月期 実績	10年3月期 実績	前期比	09年3月期 実績	10年3月期 実績	前期比
水産商事	68,688	65,060	△ 3,627	871	1,098	227
加工食品	54,239	55,346	1,106	1,055	856	△ 199
物流サービス	6,223	5,053	△ 1,170	522	62	△ 459
鯉・鮪	18,310	20,260	1,949	875	576	△ 299
その他・本部調整	91	57	△ 33	△ 343	△ 412	△ 69
合計	147,554	145,778	△ 1,775	2,981	2,180	△ 800

3. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

(1) 水産商事事業—水産物の買付・販売



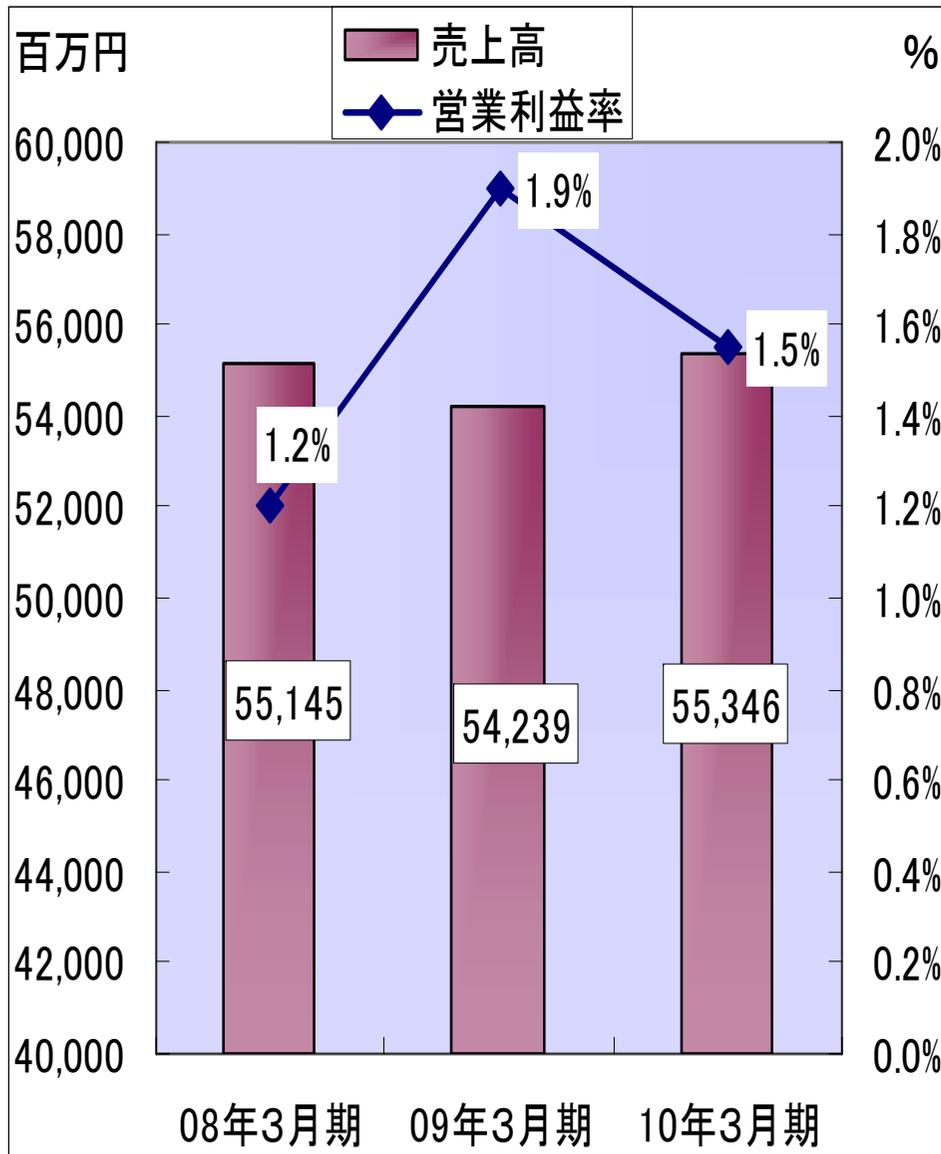
売上高前期比減少の主な要因

- ・上半期は北洋魚(ほっけ等)の取扱い減、かに等高単価商材の販売不振、えびは値頃感から数量増も販売単価下落により売上は前期実績に届かなかった。下半期は価格低下により消費が喚起されたえび、かに等の年末販売が所期計画を確保したこと等で前期を上回ったが、上半期の落込みをカバーするまでに至らなかった。

営業利益率前期比好転の主な要因

- ・かれい等の切身製品やえび等の付加価値製品の開発・拡販や、採算を重視した適時適量買付の徹底。

(2)加工食品事業—冷凍食品、常温食品の加工及び販売



売上高前期比増加の主な要因

水産冷凍食品

- ・国内向けには寿司種商材、加熱用商品を、欧米向けにはタイKUE社で生産した寿司関連商材の拡販に努め順調に推移。

常温食品

- ・魚介缶詰中心に拡販に注力し、前期下期よりグループ入りした㈱ジョッキの売上が通年計上されたことによる。

営業利益率前期比減少の主な要因

調理冷凍食品

- ・原料事情の影響から畜肉加工品の取扱いが減少し、国内工場加工の水産フライ類、練製品など高単価製品の販売低迷による。

(3) 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業、冷蔵運搬船事業

冷蔵倉庫事業は、営業力強化と事業の効率化に努め、前期並の売上を確保しましたが、荷動き低迷などにより利益は前期を下回りました。

冷蔵運搬船事業は、国際的な景気回復の遅れに伴う荷動きの減少から低迷した運賃市況と為替の影響を大きく受け、損失計上となりました。

(4) 鰹・鮪事業—鰹鮪加工及び販売事業・海外まき網事業・養殖事業

(1) 鰹鮪加工及び販売事業

- ・海外買付ルート of 拡充と生産体制の効率化、外食ルートなどへの積極的な拡販に注力し、売上・利益に貢献しました。

(2) 海外まき網事業

	09年3月期	10年3月期	前期比
水揚数量(トン)	27,455	26,625	△ 830
水揚金額(百万円)	5,247	3,728	△ 1,519
単価(円/KG)	191	140	△ 51

- ・「第七わかば丸」を含めかつおを対象とした操業を行いましたが、かつお魚価低迷などにより前期比減収減益となりました。

(3) 養殖事業

- ・2009年10月より本格出荷開始。品質は評価されましたが、生まぐろ市況低迷により売上は当初予想を下回りました。

4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

主な増減内訳(対前期比)

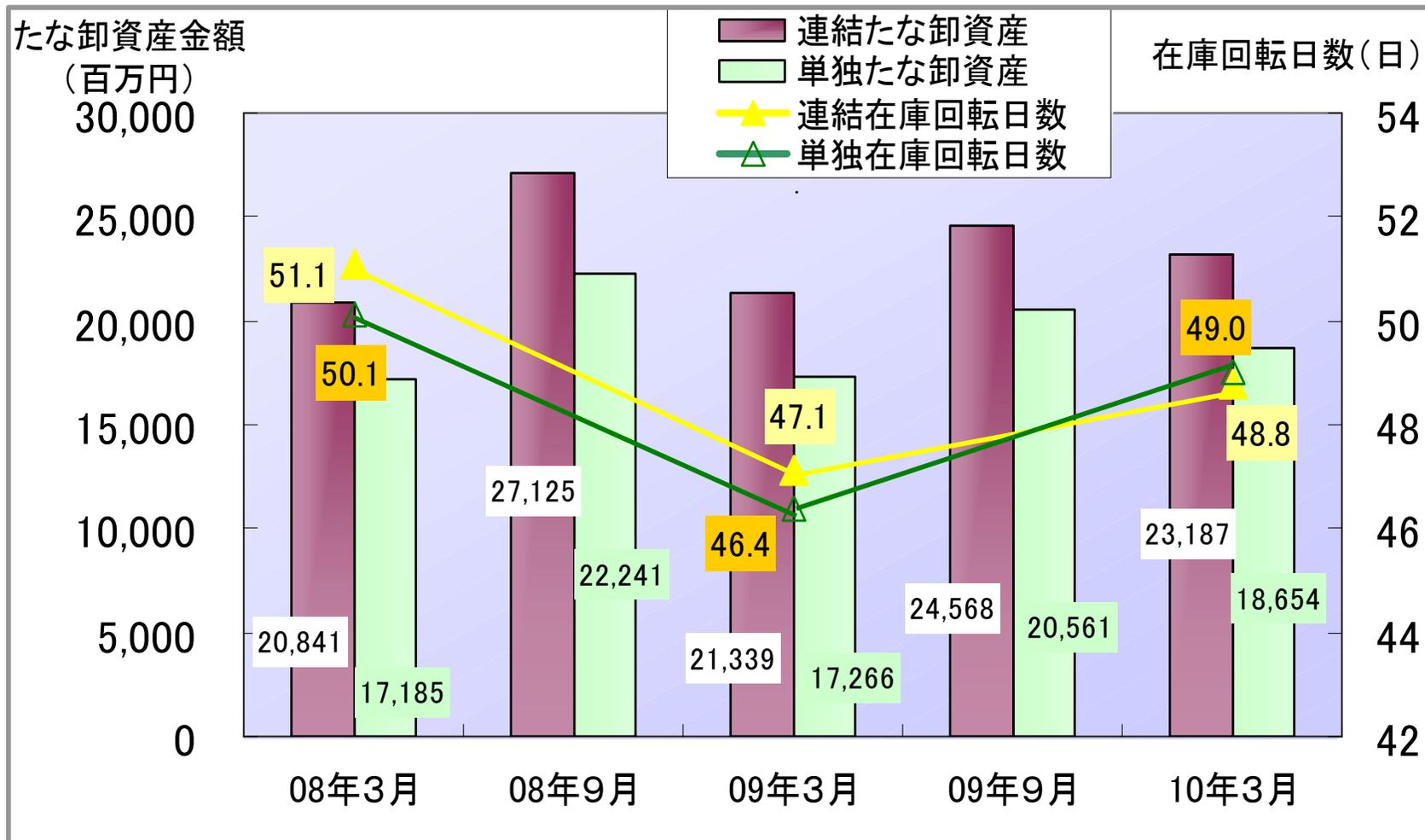
	資産の部		
	09年3月末	10年3月末	前期比
流動資産	43,752	44,953	1,201
固定資産	17,432	19,347	1,915
資産合計	61,184	64,301	3,117
	負債の部		
	09年3月末	10年3月末	前期比
流動負債	37,594	38,637	1,043
固定負債	5,747	7,125	1,378
負債合計	43,341	45,763	2,421
	純資産の部		
	09年3月末	10年3月末	前期比
純資産合計	17,842	18,538	695

流動資産	
[現金及び預金]	△10億円
[受取手形・売掛金]	△10億円
[たな卸資産]	18億円
[その他]	14億円
固定資産	
[有形固定資産]	13億円
・船舶増加分	13億円
[投資その他の資産]	6億円
・投資有価証券	3億円
流動負債	
[短期借入金]	14億円
固定負債	
[長期借入金]	6億円
[退職給付引当金]	9億円
純資産	
[株主資本]	5億円

5. キャッシュ・フロー計算書(連結)

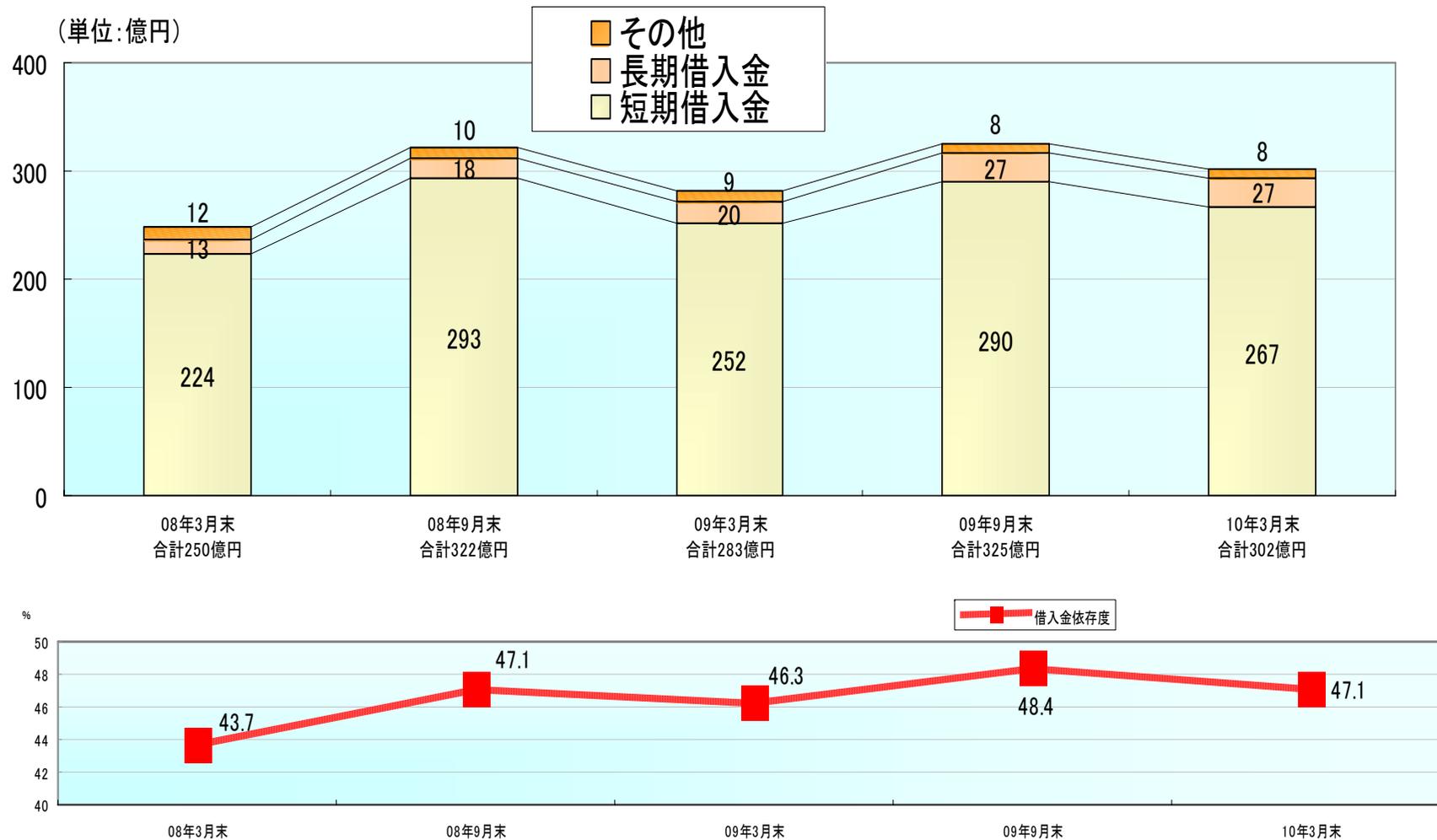
	09年3月期	10年3月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) 2,346	(百万円) 2,326	税金等調整前当期純利益 21億円 減価償却費 17億円 売上債権減 10億円 法人税等の支払 Δ 13億円 たな卸資産増 Δ 18億円
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ 2,202	Δ 4,515	固定資産の取得 Δ 29億円 投資有価証券の取得 Δ 9億円 貸付けによる支出 Δ 11億円
財務活動による キャッシュ・フロー	799	1,142	短期借入金増 12億円 長期借入金増 8億円 配当金の支払 Δ 5億円 リース債務返済 Δ 3億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	Δ 71	11	
現金及び現金同等 物の増減額	870	Δ 1,035	
現金及び現金同等 物の期首残高	2,836	3,707	
現金及び現金同等 物の期末残高	3,707	2,672	

6. たな卸資産金額・在庫回転日数推移



・在庫回転日数の算出には前期末と当期末商製品在庫高の平均値を使用しています。

7. (連結)有利子負債 推移



借入金依存度(有利子負債／総資産)

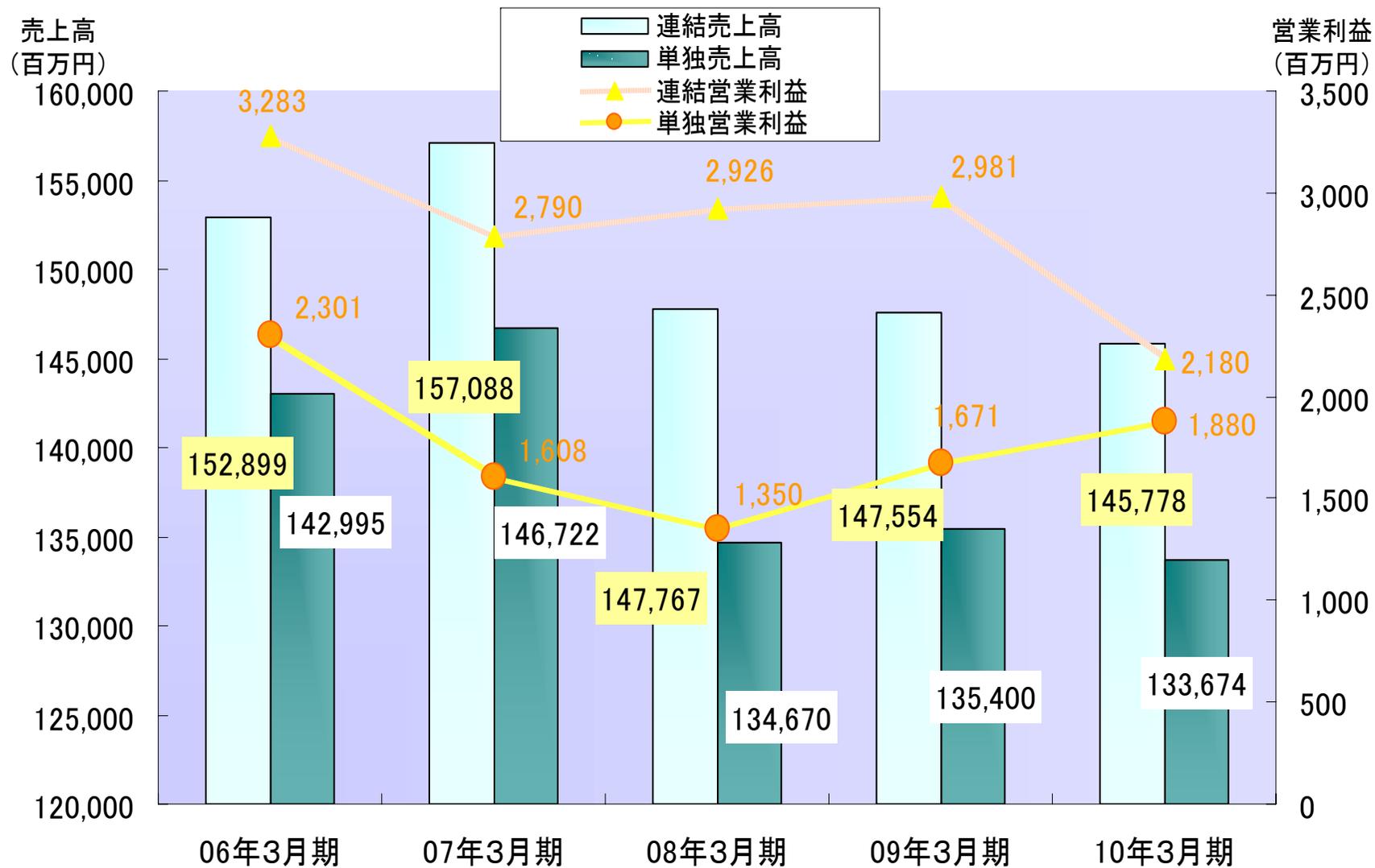
10年3月末の有利子負債残高は302億円と09年3月末から19億円増加しました。

8. (連結)経営指標

	09年3月末	10年3月末	前期比
純資産	17,842百万円	18,538百万円	695百万円
自己資本比率	28.7%	28.1%	△0.6ポイント
自己資本利益率(ROE)	9.1%	6.1%	△3.0ポイント
総資産経常利益率(ROA)	4.8%	4.1%	△0.7ポイント
売上高営業利益率	2.0%	1.5%	△0.5ポイント
1株当たり純資産	165円72銭	170円61銭	4円89銭
1株当たり当期純利益	14円97銭	10円27銭	△4円70銭
配当性向(%)	33.4%	48.7%	15.3ポイント

- ・純資産は利益剰余金の増加等により、前期比増となりました。
- ・自己資本比率は30%を目標としていますが、借入金増加などにより0.6ポイント低下しました。
- ・自己資本利益率(ROE)は10%を目標としていますが、減益により3.0ポイント低下しました。

9. (連結・単独) 売上高・営業利益推移



10. 単独損益計算書

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	前期比		当初計画	達成率	09年10月30日 業績予想修正
			(増減金額)	(比率)			
売上高	135,400	133,674	△ 1,725	△1.3%	146,000	91.6%	138,000
営業利益	1,671	1,880	209	12.5%	2,000	94.0%	2,000
経常利益	1,753	2,265	511	29.2%	2,300	98.5%	2,300
当期純利益	1,068	1,115	46	4.4%	1,300	85.8%	1,250

- ・10年3月期当初計画は、09年5月15日に発表した業績予想数値です。
- ・売上高は鰹・鮪以外は全て前期比減収となりました。
- ・営業利益は水産冷凍食品、常温食品、鰹・鮪の好調により、調理冷凍食品の不調をカバーし増益となりました。
- ・経常利益はあきんどスシロー株式売却に伴う受取配当金増加などにより、増益となりました。

11. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

(1)水産加工事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	09年3月期			10年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	25,096	15,023	599	25,790	15,765	611	694	743	12
南方魚	6,890	4,240	615	6,419	3,817	595	△ 471	△ 423	△ 20
北洋魚	39,939	17,508	438	38,272	15,894	415	△ 1,667	△ 1,614	△ 23
エビ	19,700	17,283	877	19,777	16,711	845	77	△ 572	△ 32
カニ	3,770	6,762	1,794	3,817	5,970	1,564	47	△ 792	△ 230
鱈鯖鱒	5,432	2,064	380	6,348	2,032	320	917	△ 32	△ 60
魚卵	2,915	4,223	1,449	3,149	4,136	1,314	234	△ 87	△ 135
その他	6,358	4,357	685	5,739	3,560	620	△ 619	△ 797	△ 65
計	110,100	71,460	649	109,310	67,886	621	△ 790	△ 3,574	△ 28

(2)海外事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	09年3月期			10年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
北洋魚	6,014	970	161	6,235	932	149	221	△ 39	△ 12
鮭鱒	808	221	274	825	198	240	18	△ 23	△ 34
その他	784	391	499	1,187	293	247	403	△ 98	△ 252
計	7,606	1,582	208	8,247	1,422	172	641	△ 160	△ 36

(3) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	09年3月期			10年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	26,396	23,563	893	30,829	24,102	782	4,433	539	△ 111
調理冷凍食品	27,856	16,370	588	25,061	14,083	562	△ 2,795	△ 2,287	△ 26
計	54,252	39,933	736	55,890	38,185	683	1,638	△ 1,748	△ 53

(4) 常温食品事業

(金額:百万円)

	09年3月期	10年3月期	前期比
缶詰・練製品他	8,114	8,919	805

(5) 鰹・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	09年3月期			10年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鰹鮪(買付・加工品)	19,692	13,710	696	22,649	16,652	735	2,957	2,942	39

2011年3月期業績予想及び施策

1. 連結業績予想

(単位:百万円)

	10年3月期 実績	11年3月期 予想	前期比	
			金額	率
売上高	145,778	155,000	9,222	6.3%
営業利益	2,180	3,000	820	37.6%
(営業利益率)	1.5%	1.9%	-	0.4%
経常利益	2,550	2,800	250	9.8%
(経常利益率)	1.7%	1.8%	-	0.1%
当期純利益	1,086	1,500	414	38.1%

・連結では、前期比売上高92億円(6.3%)増、営業利益8億2千万円(37.6%)増、営業利益率0.4%増を見込みます。

・経常利益は、前期比2億5千万円増を予想します。

・当期純利益は、前期比4億1千4百万円の増を見込みます。

2. 単独業績予想

	10年3月期 実績	11年3月期 予想	前期比	
			金額	率
売上高	133,674	142,000	8,326	6.2%
営業利益	1,880	2,200	320	17.0%
(営業利益率)	1.4%	1.6%	-	0.2%
経常利益	2,265	2,100	△ 165	△ 7.3%
(経常利益率)	1.7%	1.5%	-	△ 0.2%
当期純利益	1,115	1,200	85	7.6%

営業外収益及び特別損失の主な内訳(連結)

(営業外収益)	10年3月期 実績	11年3月期 予想
あきんどスシロー みなし配当金	232	0
外国為替差益	216	0
(特別損失)	10年3月期 実績	11年3月期 予想
あきんどスシロー 株式売却損	287	0
その他	98	45

3. 事業セグメント別連結売上高・営業利益予想

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	10年3月期 実績	11年3月期 予想	前期比	10年3月期 実績	11年3月期 予想	前期比
水産商事	65,060	67,500	2,440	1,098	1,200	102
冷凍食品	55,346	47,000	5,654	856	1,050	544
常温食品		14,000			350	
物流サービス	5,053	5,000	△ 53	62	150	88
鰹・鮪	20,260	21,500	1,240	576	750	174
その他・本部 調整	57	0	△ 57	△ 413	△ 500	△ 87
合計	145,778	155,000	9,222	2,180	3,000	820

※加工食品事業は、11年3月期より「冷凍食品事業」と「常温食品事業」の2事業に分割されました。

4. 施策

『キョクヨーグループ チャレンジ2012』の2年目として

加工戦略とグローバル戦略の一層の推進による事業基盤強化と成長分野への積極的な進出

※今期より「加工食品事業」を「冷凍食品事業」と「常温食品事業」に分けて管理⇒冷凍食品、常温食品両事業の更なる安定飛躍を目指す。

水産商事事業

☆付加価値商品の開発と販売ルートの開拓

本支社一体となって、顧客が望んでいる商品開発を進め、継続した販売ルートの開拓に努める。

☆強い得意商材の更なる伸長

かれい、赤魚、ほっけ、紅鮭、伸ばしえびなど

☆当社関係他部署との連携強化により、より一層の安心・安全な商品の安定供給

☆適時適量買付への取り組み徹底と在庫管理強化

冷凍食品事業

水産冷凍食品事業

☆寿司関連事業の強化拡大

- ①基幹工場であるタイKUE社をはじめ、中国、ベトナム、インドネシア、国内などバランスの良い生産で、事業の強化拡大を図る。
- ②特に国産原料を活用したチルドの寿司種の取扱いを図る。
- ③海外向け冷凍寿司の着実な浸透を図る。

☆加熱加工品の差別化、加工度の向上

煮魚、焼魚等の切身加工品やほたて等の貝類の顧客ニーズに対応した販売展開

調理冷凍食品事業

☆国内直系工場製品の商品開発力と販売力の強化

極洋食品(株) :えびフリッターの販売回復
クリーミーフライ、グラタンを第2の柱に育てる

キョクヨーフーズ(株):「オーシャンキングの極」の拡販体制構築

サポートフーズ(株) :北海道産原料を使用したさんま、たこ、いか等の唐揚げの拡販

☆海外製品の売上拡大

豚肉製品の売上回復、水産フライ・鶏肉製品の売上拡大

常温食品事業

☆中部以西の販路拡大

各地区量販店、寿司チェーン等の外食ルート、通販ルートの拡大と新規参入

☆ツナ缶詰の取組み強化

タイでの生産に加え、フィリピンでの組立てを進め、市販用のみならず業務用でも競争力を高める。

☆(株)ジョッキとの連携強化

相互の原料調達力・商品開発力等を駆使し、キョクヨーブランドのCVSルートへの拡販

物流サービス事業

冷蔵倉庫事業

☆庫腹量増強による収益力の強化(キョクヨー秋津冷蔵㈱東京事業所での2500トン増強、4月実施)

☆周辺業務(輸出、運輸等)の拡充

冷蔵運搬船事業

☆効率的配船による安定収益確保

- ①年間契約や中長期の貸船契約等の維持
- ②効率的な集荷配船の実施

☆経費削減

- ①修繕費抑制
- ②定期傭船料引き下げ
- ③運航経費削減

鯉・鮪事業

☆極洋水産(株)所属海外まき網船4隻での効率的操業による年間約3万トンの水揚げを計画

☆国内養殖本鮪の安定した出荷体制の構築

- ①キョクヨーマリンファーム(株)で今期1万5千尾の活け込みを計画、出荷は約300トンを予定
- ②キョクヨーマリンファーム(株)に続く、新たな養殖場を愛媛県にて計画準備中

☆加工販売事業にて独自買付ルートを伸ばし、顧客の視点に立った製品開発

- ①本鮪・ミナミ鮪等脂物の取扱い強化(天然、養殖)
- ②ネギトロ等寿司種用加工品のアイテム充実
- ③生食・チルドによる流通ルートの開拓



5. 設備投資計画

(1) 極洋(単独) 6億円

鯉・鮪事業関連	2億円
(まぐろ養殖設備増強他)	
調理食品加工設備増強	2億円
ソフトウェア・パソコン他	2億円

(2) 関係会社 5億円

海外まき網船関連	2億円
関係会社工場 製造設備増強他	3億円

合 計 11億円

本資料は2010年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703